

大野耐一 高卒ながら、"かんばん方式"を導入はじめ、生産性を高めて、(トヨタ)をトップ企業にし、副社長にまでなった。

おおのたいいち

明治天皇没・1912 = 中国大連で生まれる。

原敬首相暗殺1921 = **9歳** :

愛知県立刈谷中学校を経て、

海軍軍縮条約1930 = **18歳** :

満州事変・1931 = 19歳 :

五一五事件・1932 = 20歳 : **名古屋高等工業学校機械科を卒業し、豊田紡織に入社。**

国際連盟脱退1933 = 21歳 : この年、豊田自動織機製作所に自動車部発足。

二二六事件・1936 = 24歳 : この年、自動車製造事業法公布。

日中戦争始・1937 = 25歳 : この年、トヨタ自動車工業設立。

第二次大戦始1939 = **27歳** :

日米開戦・1941 = 29歳 :

創価学会検挙1943 = 31歳 : (豊田紡織・豊田押切紡織・中央紡織・内海紡織・協和紡績の合併により前年設立した)中央紡績との合併にともない、**トヨタ自動車工業に転籍。**

敗戦・1945 = 33歳 :

極東裁判決・1948 = **36歳** :

三大事件・1949 = 37歳 : ***機械工場長に就任すると、**

朝鮮戦争始・1950 = 38歳 : **機械加工工程の流れ化、**

独立回復・1951 = 39歳 :

トヨタ自動車創業者の豊田喜一郎が提唱した"Just in Time"を具体化すべく、

TV放送始・1953 = 41歳 : **機械工程で"かんばん方式"を導入し、**

自衛隊発足・1954 = 42歳 : **取締役に就任。**

国連加盟・1956 = 44歳 : 渡米して自動車産業視察。

なべ底不況・1957 = **45歳** :

安保闘争・1960 = 48歳 : 元町工場長に就任。**全工場間の同期化を実現。**

全国総合計画1962 = 50歳 : **かんばん方式の全社的採用、**

TV宇宙中継始1963 = 51歳 : **多工程持ちの実施など、次々と生産性を高めて、**

東京リトル 1964 = 52歳 : ***常務取締役に就任。**

大学紛争始・1965 = 53歳 : **外注部品にかんばん採用、**

いざなぎ景気1966 = **54歳** :

全共闘・1969 = 57歳 : **生産管理部生産調査室を発足させ、**

大阪万博・1970 = 58歳 : **専務取締役に就任。工長研修・組長研修にトヨタ生産方式カリキュラムを織り込むなどして、**

石油ショック1973 = 61歳 : **藍綬褒章、**

角栄金脈辞任1974 = 62歳 : **労働大臣功績賞を受け、**

アラル海 事件1975 = **63歳** : ***副社長に就任するに至り、**

生産思想のエッセンスを広く世に周知して奨励するため、

成田衝突・1978 = 66歳 : ***「トヨタ生産方式～脱規模の経営をめざして～」を上梓・出版、相談役に退いて、**

中曽根内閣・1982 = 70歳 : **勲三等旭日中綬章。**

・1984 = **72歳** :

ドイ統一・1990 = 78歳 : **没した。**